

授業科目 保健医療福祉機器の世界

【担当教員名】 貝淵 正人		対象学年	2	対象学科	理学・作業・言語・義肢・健栄・スポ・社会・看護・情報	
		開講時期	前期	必修選択	選択	
		単位数	1	時間数	15	
【カリキュラムポリシーとの関連性】						
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現		
◎	○	○	◎			
【概要・一般目標：GI0】 医療と福祉と介護について考え、それをサポートする機器について体験により理解する。 福祉機器を利用することで起きる問題点を理解する。 保健医療福祉機器とICFの中の環境要因の関係を理解する。						
【学習目標・行動目標：SBO】 1 福祉機器の概説を述べるができる 2 ADLにおける福祉機器の有効性を述べるができる 3 具体的な福祉機器をあげることができる 4 福祉機器の操作を体験する 5 住環境の改善点を指摘することができる 6 福祉用具に積極的にさわりの操作や注意点を理解する。						
回数	授業計画・学習の主題				SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	現代の福祉機器概説 ICFの中の福祉機器				1	講義 貝淵、担当：貝淵 正人
2	自助具とは 障害にどう適応させるか				1. 2. 6	講義 貝淵、担当：貝淵 正人
3	排泄関連福祉機器				2. 3. 4	講義 貝淵、担当：貝淵 正人
4	移動関連福祉機器				2. 3. 4. 6	講義 貝淵、担当：貝淵 正人
5	姿勢保持装置・杖				2. 3. 4	
6	住環境				5	
7	義肢・装具				3. 4	
8	まとめ					担当：貝淵 正人
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)						
参考書		福祉用具専門相談員研修用テキスト	シルバーサービス振興会編	中央法規	2010・3,675円	
その他の資料		プリント				
【評価方法】 出席、レポート、期末試験など			【履修上の留意点】 さまざまな福祉用具をお見せしますので、積極的に参加するように			